

戦間期①「第一次世界大戦とその後の世界と日本」

第一次世界大戦と国際協調 **A**

🕒 7分

1. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あ バルカン半島では、さまざまな民族や宗教での対立に列強の利害による対立が加わり、い 第一次世界大戦へと発展した。アメリカの参戦などで同盟国側は降伏し、1919年にう 講和会議が開かれた。また、戦争がおこらないようにえ 国際連盟が設立された。

日本は、第一次世界大戦を機に中国での権益を拡大しようとして、中国にお 二十一か条の要求を認めさせた。大戦中の1917年にか ロシア革命がおこり、革命の広がりをおそれた日本や列強各国は（き）出兵を行った。大戦後には各地で民族運動が高まり、中国では二十一か条の要求は不当であるとして反日運動がおこった。

(1) 下線あについて、次の問いに答えなさい。

- ① この半島の位置として最も適当なものを右の略地図中から1つ選び、記号で答えなさい。

[1]



- ② この半島は、第一次世界大戦前、いつ紛争がおこるかわからない状態であったことから「ヨーロッパの（ ）」と呼ばれた。（ ）にあてはまる最も適当な語句を答えなさい。

[2]

(2) 下線いについて、次の問いに答えなさい。

- ① 連合国側の国の組み合わせとして最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア フランスとロシア イ フランスとオーストリア
ウ ドイツとロシア エ ドイツとオーストリア

[3]

- ② 第一次世界大戦で登場した新兵器として不適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 毒ガス イ 原子爆弾 ウ 戦車 エ 潜水艦

[4]

次ページにつづく▶▶▶

- (3) 下線うでは、各民族が他の民族や国家に干渉^{かんしやう}されることなく、帰属や政治を自主的に決める原則が唱えられ、この原則により、東ヨーロッパでは多くの国が独立した。この原則を何というか。

[5]

- (4) 下線えは、世界平和を維持する国際機関としては多くの欠点をかかえていた。そのうち、設立時の参加国の面での欠点を答えなさい。

[6]

- (5) 下線おで、第一次世界大戦前にドイツがもっていた権益を日本が引き継ぐとした地域はどこか。最も適当なものを右の略地図中から1つ選び、記号で答えなさい。

[7]



- (6) 下線かによって社会主義の（ ）政府が成立した。（ ）にあてはまる最も適当な語句をカタカナで答えなさい。

[8]

- (7) （ き ）にあてはまる最も適当な地名をカタカナで答えなさい。

[9]